

地域施工共同体構想（概要）

本資料について

本資料は、地域施工力維持の為の「共同体構想」の初期相談資料です。

現時点では確定事項ではなく、老舗工務店様・協力会社様・法務税務関係者様と相談しながら設計していく前提の草案です。

現在の建設業界の問題

- 材料不足
- ナフサ系原料高騰
- 職人不足
- 若手不足
- 見積破綻
- 未払いリスク
- 支払サイト長期化
- 材料立替負担
- 小規模工務店の資金悪化

特に、施工力がある会社でも、材料・資金・人員問題で現場が止まるケースが増えています。

本構想の目的

「地域施工力を次世代へ残す」

単なる利益追求ではなく、

- 地域施工力維持
- 協力会社保護
- 若手育成
- 未払い防止
- 材料安定化

を目的とします。

基本思想

各社の独立性は維持

本構想は、

- 吸収
- 支配
- 統合

を目的とするものではありません。

各社の：

- 社名
- 顧客
- 代表
- 既存取引

を維持したまま、不足部分のみ共同化します。

共同化する内容

- 共同受注

- 共同調達
 - 共同回収
 - 人員融通
 - 若手育成
 - 法務税務支援
 - 原価管理
 - 利益率管理
 - 未払い防止
-

最終目的

「新しい下請構造」ではなく、
「地域施工共同基盤」を作る事。

更新日: 2026-05-06 18:06 JST